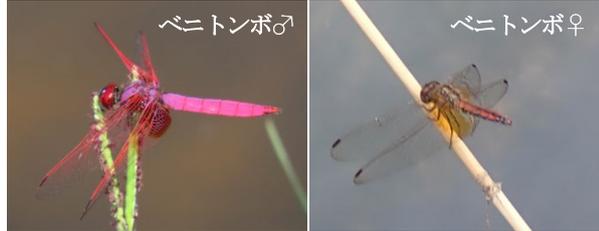


神戸市垂水区でベニトンボを発見！

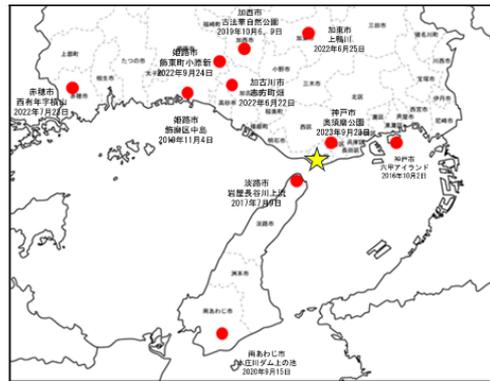
早田菜月・岡本心・石川正樹
(兵庫県立星陵高等学校 科学同好会)

はじめに

ベニトンボ (*Trithemis aurora*) は、成熟したオスが全身紅色に色づく体長 35~40 mmほどのトンボである¹⁾ (図1)。台湾、中国、東南アジア、インドから日本の九州南部と南西諸島の島々に分布するとされてきた。近年、分布を広げ、和歌山県には定着した可能性が指摘される¹⁾。



兵庫県下では2016年に六甲アイランドで記録されて以降、10例ほどの記録がある(右図中の赤丸²⁾⁻⁸⁾。2023年夏筆者らは神戸市垂水区の山田川(図中☆印)でベニトンボを発見した。神戸市内での分布や出現期がわかっていなかったため、2023年~2024年に調査(1)、(2)、(3)を実施した。



調査方法

- (1) 山田川全域調査：2023年9月17日、8:30~11:15に垂水区小東山から西舞子まで目視および採集によりトンボ相を調べた。
- (2) 山田川定点調査：2024年4月15日から月4回1時間程度、垂水区本多聞2丁目の500m区間(図3黄色口内)で目視、採集によるトンボ相の調査およびヤゴの採集を行った。
- (3) 生息地状況の確認：神戸市内の表六甲水系の河川と池について30分間の目視・採集によるトンボ相調査を2023年9月30日と2024年8月18日と9月29日に行った。以下、河川と調査範囲(地名は各河川の左岸)。山田川(垂水区本多聞~本多聞)、福田川(垂水区名谷町~名谷町)、奥須磨公園(須磨区多井畑)、新湊川(長田区七番町~六番町)、都賀川(灘区篠原南町~下川原通)、住吉川(東灘区西岡本~甲南町)、堂谷池(須磨区須磨寺)、2023年は奥須磨公園ではなく塩屋谷川(垂水区下畑町)で調査を実施。

結果と考察

(1) 山田川全域調査

観察されたトンボを地図上に示した(図4)。ベニトンボは垂水区本多聞~清水が丘の間で多数確認できた。また、交尾や産卵する個体も見られた。

(2) 山田川定点調査

山田川のトンボ相の季節変化を表1に、ヤゴ相の季節変化を表2に示した。ベニトンボは2024年6月16日から11月8日まで確認されたが、8月3日~8月19日の間確認できなかった。一方で、ベニトンボのヤゴ⁹⁾はみつからなかった。



